

自分で作った おむすび弁当!!

NPO 法人食育体験教室・コラボ 自分で作る弁当の日

2018年6月16日(土)、小布施町で開かれた「自分で作る弁当の日」ワークショップ。はじめて料理する子を含め、年中児から小学校6年生まで15人が、おむすび弁当を作りました。



自分で作るお弁当

おむすびは、ふりかけやゴマをまぶし、のりをつけたり、形を考えながら自分でにぎります。

おかずは、あらう・ゆでる・ちぎる・きる・やく・つめる・かざるなど、大きな子が小さな子を助けたり、教えたりしながら進めました。きゅうりとちくわ、ウインナーは、切り方自由。お弁当箱へどう入れたいかを考えました。



子どもたちがお弁当を作っている間に別室では、「子どもが自分で作る弁当の力を学ぶ」大人向けのワークショップ。映像と本で、弁当づくりを通して子どもたちがどう変わったかなどを紹介しました。大人が思う以上に、子どもたちは作ることを楽しみ、いろいろなことを吸収し、自分で考えるようになるようです。



見せたい！自分のお弁当

材料がそろったら弁当箱へ詰め込み、自分のお弁当が完成！みんなで見せ合い、「持って帰って家の人に見せる!!」と自慢げ。自分で作ったことが自信になり、次のやる気も満々。



主催したNPO 法人食育体験教室・コラボは、「弁当の日」の取り組みを通じて、子どもたちに生きるチカラを身につけてほしいと思っています。



子どもたちの笑顔と自信が詰まったステキなお弁当の一部

7月29日の講演会へお越しください

弁当の日 子どもが作る弁当の日とは
～弁当の日を広めよう!～ NPO 法人食育体験教室・コラボ主催

竹下和男氏講演会

子どもが自分で弁当を作ると

親は、家族は、地域はどう変わっていくのか

「弁当の日」は、地域の子どもたち、地域に生きる、未来を担っていくことにつながる。

意義と成果、今後この取り組みが必要なのか、などについてお話しいただきます。

7月29日(日)
13:00~15:00

会場 もんげんぶら座
3階304会議室
長野県長野市南町1485-1

参加費 無料
定員 60人
託児 無料
先着10名まで

※当日参加も可能ですが、7/29の用意が
ございますので、ぜひご予約ください!

<アクセス>

長野駅から北7分
長野駅前バス・山中島バス(駅南側)下車 徒歩1分
会場は駅北側の側面、1階304会議室(3階)までエレベーター
駐車券を別途お持ちください。(駐車場の一部は無料)



「弁当の日」提唱者 竹下和男氏

山形県出身、小中学校教員、校長等を歴任。2011年から

「弁当の日」を提唱し、全国に広がる。

2003年子どもが作る弁当の日(日)、「弁当の日」を提唱し、

全国に広がる。2014年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2015年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2016年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2017年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2018年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2019年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2020年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2021年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2022年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2023年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2024年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2025年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2026年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2027年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

2028年、長野県で「弁当の日」を提唱し、

<編集>伝える食と農リンクネット信州

紙面はナガプロで公開しています。お問い合わせはメール hello.yoshida@ngn.janis.or.jp まで